

# まちのニュース

町内の話題をお届けします

## 泥んこ田植え

大網小学校の児童



▲泥だらけで苗を植える児童▶



4月27日、大網小学校5、6年生の児童173人が大網高校の実習用水田で、農業経済科3年生9人の指導を受け、田植えを体験しました。

田植え体験は農業体験学習の一環として、毎年実施。児童が田植えと稲刈りを体験し、お米ができるまでを学びます。初めに高校生が植え方のコツを伝授。苗は鉛筆を持つような感じで持ち、人差し指の第一関節くらいの深さまで植えるようにと説明を受けました。

準備ができた子どもたちは、靴を脱いで田んぼの中へ。泥に足をとられて転びそうになりながらも、ゆっくりと進んでいき、先生の合図で一斉に植え始めました。

体験したことのない泥の感触に「ぬるぬるで気持ち悪い」などと、嫌がっていた子どもたちでしたが、最初にもらった苗がなくなると、次々に追加の苗をもらい、泥んこになりながら、楽しそうに植えていました。

植えられた苗は、大網高校が丹精を込めて管理し、秋には稲刈りを体験した後、おいしいお米を学校の給食で味わう予定です。

## トウモロコシの種まきに挑戦

季美の森小学校の児童



▲やさしく高校生に教わりながら種まきをする児童

大網高校では、実習地での農作業を通じて、小学校との教育連携を図る活動を行っています。

4月20日、きれいに耕された大網高校の中正農場に、季美の森小学校の5、6年生の児童91人が訪れ、生産技術科2年生7人とトウモロコシの種まきを行いました。

今回まいた種は「ゴールドラッシュ」という品種。皮がやわらかく、色は黄金色で、とても甘いと言われているトウモロコシです。

1つの穴に2粒の種をまき、砂をかぶせました。粒の間隔や砂の量など、お兄さん、お姉さんに教えてもらいながら、1粒ずつ丁寧に種をまきました。

今後、収穫まで2回ほど草取りなどを行い、7月ごろに収穫する予定です。

## グラウンドを悠々泳ぐ

増穂中学校の校庭に鯉のぼり



▲部活中の生徒の上を泳ぐ鯉のぼり

増穂中学校のグラウンドに、5月上旬まで鯉のぼりが掲揚されました。

増穂中学校では、生徒の健全な成長を願って、入学式の終わった4月中旬に父兄や学校関係者などの寄付により、受け付けた鯉のぼりを掲揚しています。

今年も約70匹の鯉のぼりが、部活動や体育の授業などに取り組む生徒の上を、元気に遊泳。

唐笠稔校長は「鯉のぼりを揚げている家庭も年々減ってきました。この季節の風物詩として、継続していければ」と話しました。

※増穂中学校では随時、不要となった鯉のぼりの寄付を受け付けています

## 緑と遊ぶ鯉のぼり

鯉のぼりまつり



子どもたちの健康と成長を願って、小中池の湖面上に鯉のぼりを掲げる「鯉のぼりまつり」が、5月6日まで開催されました。

今年も4月22日に、地元ボランティアがワイヤーを使って、池を横断するように鯉のぼりを掲揚。約60匹が、緑に囲まれた池を彩りました。

開催期間中は、緑と風にそよぐ鯉のぼりとの鮮やかなコントラストや、池の鯉と鯉のぼりとの共演を一目見ようと、連日家族連れなどが来園。写真に収めたり、絵を描いたりするなど、楽しんでいました。

## コスモス通信

◆町民スポーツ大会結果

（一般軟式野球）

優勝 白里SPS

準優勝 大和

第3位 FALCON

M・Aメジャーズ

最優秀選手賞 糸日谷直樹 (白里SPS)

敢闘賞 押野 智弘 (大和)

打撃賞 西脇 翔太 (白里SPS)

※大会開催中、大網白里町野球協会が東日本大震災の義援金を募り、計71,746円を町社会福祉協議会へ寄贈しました

（クレイ射撃）

▼トラップA

優勝 高橋 重一

準優勝 堀江 和好

第3位 大塚 恒夫

▼トラップB

優勝 名波 昌陸

準優勝 板倉 俊廣

第3位 河野 浩輝

▼スキート

優勝 竹内 良行

第3位 齋藤 誠

準優勝 山辺支部

第3位 白里支部

（アマチュアゴルフ）

▼一般

ベストグロス 吉原 明裕

シニア

ベストグロス 松尾 嗣朗

グラントシニア

ベストグロス 山田 保太郎

女子

ベストグロス 中村 静江

ベストグロス 齋藤 誠

準優勝 堀本 孝雄

第3位 斎藤 隆男

地区対抗

優勝 白里地区



▲白里SPS